

# サウジアラムコ-JCCP国際石油・ガス協力機関-合同シンポジウム 『エネルギー節減とエミッション削減を実現する燃料の未来を切り開く』 “Unlocking the potential of fuel to enable energy savings and emissions reductions” (2016年5月16日9:00~18:00、パレスホテル東京)

JCCPとサウジアラムコは、地球温暖化対策等の環境負荷低減や石油の最適な利用方法、なかでも移動体燃料としての重要性に焦点を当て、移動体燃料とエンジンの将来に向けて、政策、燃料需給、燃料技術、エンジン技術、消費者動向、石油業界と自動車業界の共同の取組、等の多面にわたる内容のシンポジウムを共同で開催しました。

自動車の動力源が多様化される一方、エンジンの高効率化に向けた開発が今後も重要であり、エンジン技術の高度化には燃料にも高度な技術が必要となること、また石油業界と自動車業界の共同の取組が益々重要になることや、環境対応自動車の普及には消費者に導入を促す政策の重要性等々、活発な意見交換、情報交流が行われました。



■ 写真右： 共催関係者と来賓、講演者

- 前列右から、平岡英治 JCCP常務理事、Ahmed Alkhunaini アラムコ・アジア・ジャパン(株) 代表取締役社長、藤井敏彦 経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部長、Ahmad O. Al Khowaiter サウジアラムコ 最高技術責任者、中井毅 JCCP代表執行理事、Ammar A. AlNahwi ダウンストリームR&Dセンター長(※)、Amer A. Amer 燃料技術主任(※)
- 後列右から、Vittorio Manente 燃料リサーチセンター パワートレインチームリーダー(※)、Steven Przesmitzki (※)戦略的輸送解析グローバルチームリーダー、Junseok Chang エンジン燃焼チームリーダー(※)、Gautam T. Kalghatgi (※)主任研究員 教授、柴田元 北海道大学大学院准教授、Bengt Johanson キング・アブダラー一科学技術大学 機械工学専攻教授、森吉泰生 千葉大学大学院教授、吉村宇一郎 石油連盟常務理事、Rubal Dua キング・アブダラー石油調査・研究センター シニア・リサーチ・アソシエイト、人見光夫 マツダ(株)常務執行役員白羽亨 JXエネルギー(株)中央技術研究所燃料研究所長、木村修二 日産自動車(株)パワートレイン技術開発本部 パワートレイン計画部長、岡部伸宏 昭和シェル石油(株)研究開発部副部長、平井晴己 (一財)日本エネルギー経済研究所計量分析ユニット担当補佐

■ 写真左： シンポジウム会場風景

注] (※) サウジアラムコ研究開発(R&D)部門